

は し が き

これからの教育には、児童生徒一人一人の個性を生かすための授業改善が強く求められています。創造活動は、自分自身が感じたものを自分らしく表現するという極めて個性的な活動であり、造形的な創造活動を基盤としている図画工作や美術の学習活動は、児童生徒一人一人の個性を最も発揮させることのできる学習活動の一つであるといえるでしょう。

さて、図画工作や美術の教科書では、「絵本づくり」が、題材の一つとして、しばしば取り上げられていますが、教師の誰もが実践しているというほど一般的なものになっているとはいえません。その理由としては、「教科書に、取り上げられている題材の内容の幅が狭く、児童生徒の多様な表現欲求を満足させるものとはいえない」ということや、「教科書には、製本の方法についての具体的な説明がほとんど見られない」などが考えられます。

このことから、本研究は、「個性を生かす」ことを「自分らしさを生かす」と捉え、「手づくり製本」の具体的な授業実践を通して、「個性を生かす学習指導の改善」を追究したものであります。研究にあたっては、児童生徒一人一人が、自分らしさを発揮できるように、手づくり製本の題材の検討や製本の方法などの工夫を試みました。これからの図画工作、美術における教育実践に役立てていただければ幸いです。

最後に、この研究を進めるにあたり、ご協力いただきました各学校関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成 5 年 3 月

新潟県立教育センター所長

大 澤 正